

6 職住共存のまちづくりのアクション

- ・ 職住共存のまちづくりの目標及びまちづくりの実践に向けての考え方を踏まえ、今後、住民・企業・
- ・ この中で、特に下記の職住共存のまちづくりアクションプランを、今後3箇年程度の期間に、住民
- ・ なお、下記のメニューにとどまらず、地域のまちづくり活動や、住民や企業から受けた事業提案についても、職住共

職住共存のまちづくりの目標

いきいき元気な交流都心・
新たな京町家街の創造を目指して

都心住民の根強い定住志向に応え、活発な交流と多様な生活文化の展開が豊かな暮らしを支えるまちづくり

大競争時代の中での京都の特色ある人材、交流、創造的活力、文化発信力を産業振興の基盤として活用するまちづくり

京都市心の交流促進・文化発信を支える職と住、新と旧が調和した複合共存空間の形成を目指すまちづくり

災害に強い安全で安心できるまちづくり

職住共存のまちづくりの実践に向けての考え方

<都心居住の方向性>

- ・ 受け継がれた歴史・文化、町家などのストックを活用した特色ある都心居住の実現

<産業振興の方向性>

- ・ 匠、巧を結集させる伝統産業再生、都心型ベンチャー企業育成に寄与する環境整備と地域の個性の継承装置となる商店群の再生の実現

<空間づくりの方向性>

- ・ 新たな建築活動による新陳代謝を進めつつ、町家等との共存を空間構成の原理とするまちづくりのルールの整備・活用

<安全で安心できるまちづくりへの配慮>

プラン（その1）

行政のパートナーシップ型のまちづくり事業を展開します。

や企業の参加を得ながら、(財)京都市景観・まちづくりセンター及び行政が中心となって展開します。
存のまちづくりの目標の実現に向けて、(財)京都市景観・まちづくりセンター及び行政が可能な限り支援を行います。

職住共存のまちづくりアクションプランのメニュー

(1) 職住共存地区 地域協働型地区計画の活用(p14)

(2) 町家保全・再生システムの開発(p16)

(3) 袋路の再生等による定住空間の整備(p17)

下記のアクションプランの具体的内容
には、今後、制度化などに向けて検討す
るものも含まれています。

将来のまちなみのイメージ



(4) 魅力あるまちなみ景観の確保(p18)

(5) 回遊空間の整備(p19)

(6) 特色ある都心居住の推進(p20)

(7) 防災性能の向上(p21)

(8) 組織・ネットワークづくり(p22)

上記の他、街区再編等への対応、都心型産業の育成と立地交流基盤の整備などについても取り組みます。